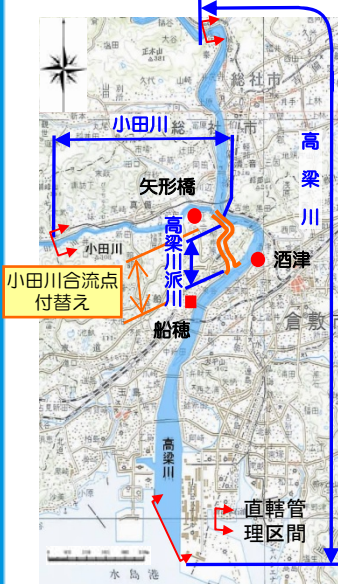


# 高梁川水系 小田川付替事業の概要



## ■事業の目的

小田川付替事業は、高梁川の支川である小田川について高梁川と合流する位置を約4.6km下流に付替えます。人口、資産が集中する倉敷市街地区間に接する高梁川酒津地先の洪水時の水位を低下して、水害のリスクを低減します。また、過去幾多の甚大な被害が生じている小田川合流点付近の洪水時の水位低下を図ります。



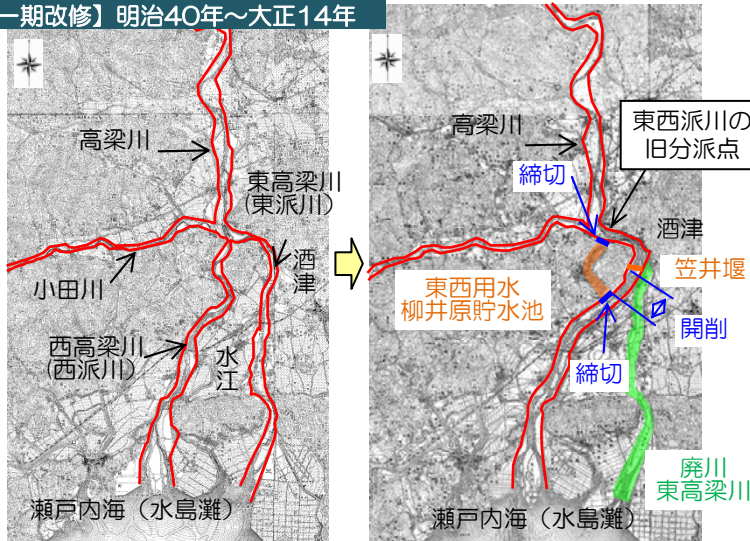
小田川合流点付替え位置図



## ■治水事業の経緯



### 【第一期改修】明治40年～大正14年



【第一期改修着手前（明治40年）】 【第一期改修完成後（大正14年）】



※国土地理院資料（米軍撮影写真）に加筆

## ■治水に関する現状と課題

### 既往洪水による被害

■昭和47年7月洪水、昭和51年9月洪水等に小田川において内水はん濫及び堤防決壊によるはん濫が発生しています。



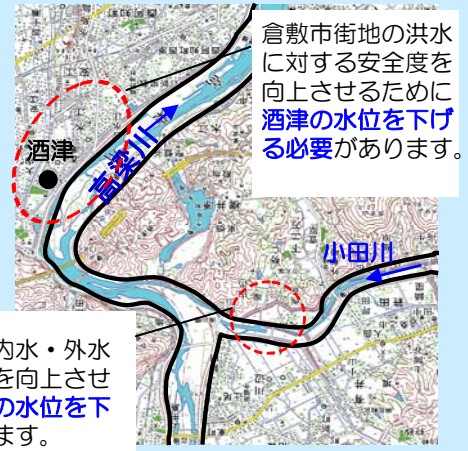
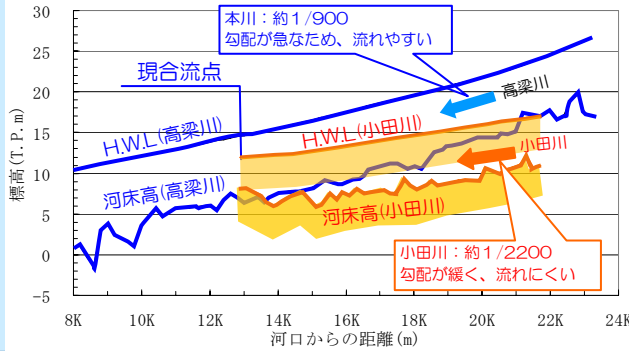
S51.9洪水の氾濫状況



S47.7洪水,S51.9洪水の実績浸水区域図

### 治水の課題

■現在の小田川は、洪水時に高梁川の合流水位が高いことから、高梁川の河川水位が回り込み、水の流れが阻害され、小田川の水位が高くなる特性（背水影響）を持っています。また、小田川の河床勾配は、高梁川に比べても緩く、洪水をスムーズに流すことができないため水位が高くなる影響が広範囲に及びます。

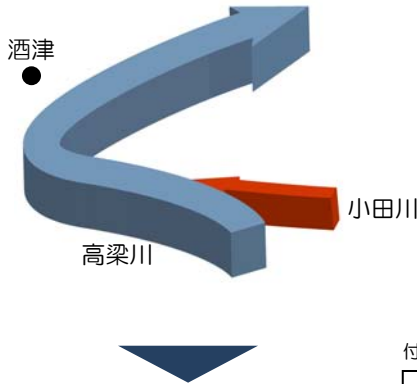


背水影響による内水・外水に対する安全度を向上させるため、**小田川の水位を下げる必要があります。**

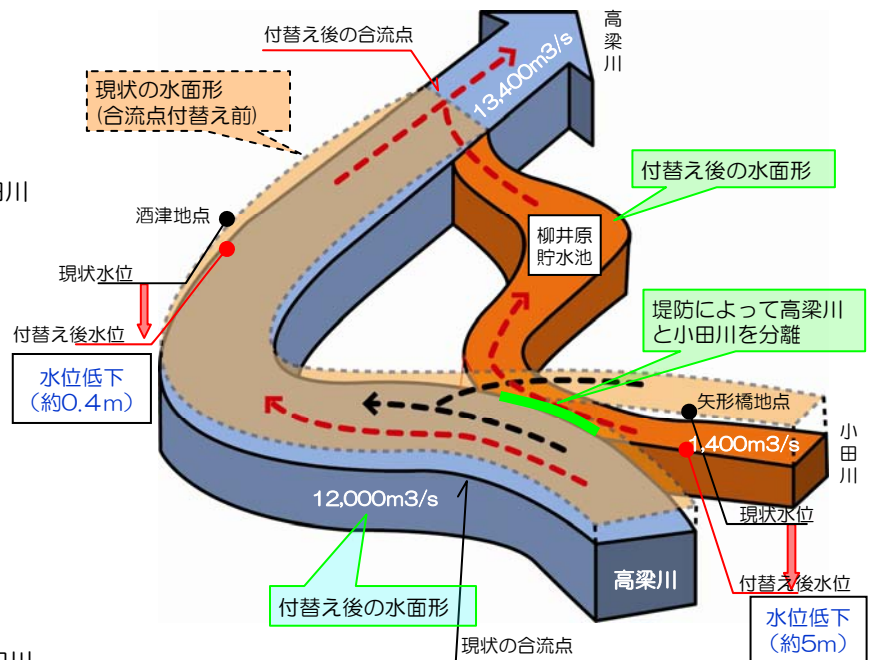
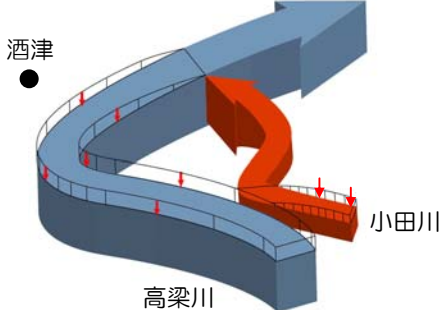
### ■小田川付替事業の効果

- ◆高梁川酒津地点の水位の低下が見込まれ、倉敷市街地の洪水に対する安全度が向上します。
- ◆小田川の洪水時の河川水位の全体的な低下が見込まれ、越水や堤防決壊の危険性が軽減されます。
- ◆小田川の洪水時の河川水位が居住地側の地盤高や排水門の敷高を上回る時間が短くなるため、内水被害が軽減されます。

#### 【現状】



#### 【付替え後】



小田川合流点付替えによる水位低下効果のイメージ

※計画降雨が生じた場合の高梁川及び小田川の流量

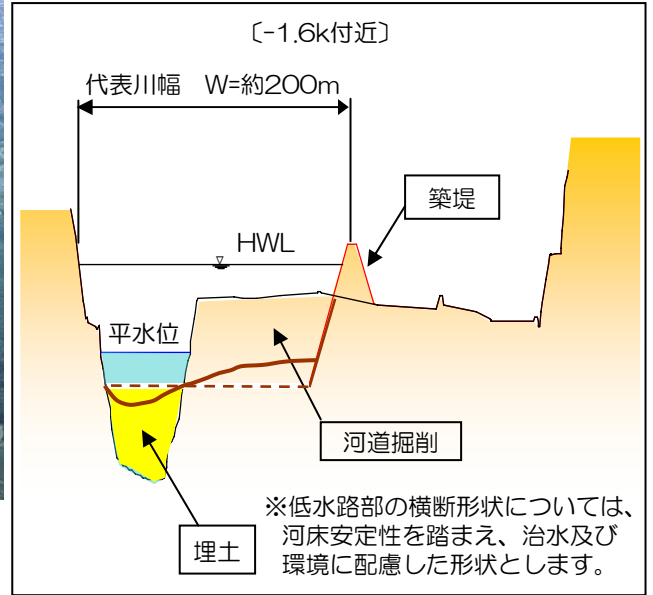
## ■付替え河道の諸元及び標準断面図



### <付替え河道の諸元>

延 長	L=3.4km
計画高水流量	2,300m <sup>3</sup> /秒
代 表 川 幅	W=約200m

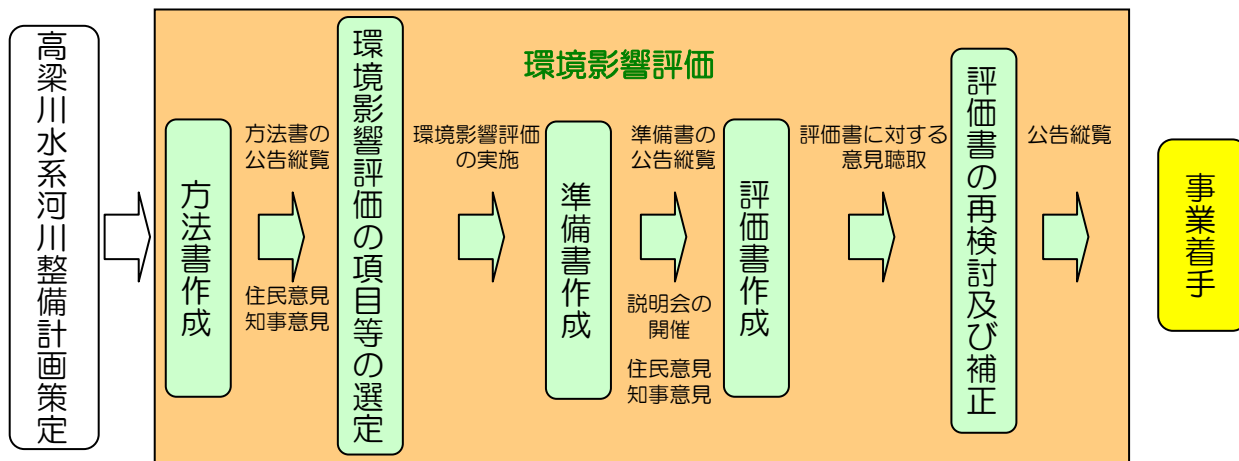
### <標準断面図>



## ■小田川付替事業周辺の状況



## ■小田川付替事業のスケジュール



## ■小田川付替事業環境影響評価技術検討委員会

小田川付替事業の実施にあたり、環境影響評価法に基づく環境影響評価を実施します。

実施にあたっては、小田川付替事業の事業特性、地域特性を踏まえ、最新の科学的知見に基づく適切な環境影響評価を実施するために専門家で構成される委員会を設立し、環境影響評価の手続きにかかる各段階において技術的助言を求めるとしてあります。

### 委員名簿

氏名	所属・役職	担当分野
うちだ かずこ 内田 和子	元岡山大学大学院 社会文化科学研究科 教授	景観、人と自然との 触れ合いの活動の場
おくしまゆういち 奥島 雄一	倉敷市立自然史博物館 学芸員	陸上昆虫類
かわら おさみ 河原 長美	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授	水質、底生動物、 廃棄物等
ささおかえいじ 笹岡 英司	元岡山大学大学院 環境学研究科 教授	大気質、騒音、振動
さとう くにやす 佐藤 國康	元川崎医科大学 教授	哺乳類、爬虫類、 両生類、魚類
にしがき まこと 西垣 誠	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授	地下水、地形及び地 質、地盤沈下
はだ よしお 波田 善夫	岡山理科大学 学長	植物
まるやま けんじ 丸山 健司	日本野鳥の会 岡山県支部 支部長	鳥類

(敬称略 五十音順)

### 【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 小田川付替推進室  
〒700-0914 岡山市北区鹿田町2丁目4番36号  
TEL (086)223-5189 (河川環境課直通)  
FAX (086)234-2298 (調査設計課直通)  
URL <http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>

平成25年1月